

当事者団体と活動紹介

はじめに

脳損傷後遺症から生じる家庭や社会生活の中でのさまざまな課題をリハビリテーションだけで解決することは難しいのが現状です。当事者団体が発足する以前は、ご本人やご家族は病院を退院すると社会生活の中でいろいろな課題に直面しても、同じような経験をされてきている方からの情報や助言などのサポートを得る機会はありませんでした。また、脳外傷により高次脳機能障害をお持ちの方は、障害者福祉制度などの社会的な制度面でも不利な状況におかれ、その改善が求められていました。このような状況を背景に平成9年に神奈川と名古屋に「脳外傷友の会」が発足しました。

高次脳機能障害友の会について

高次脳機能障害友の会は、ご本人やご家族が共に支え合うための活動を行う当事者団体です。活動としては、会員の相互交流会や同じ立場での相互支援活動（セルフヘルプグループ）、学習会、それに脳外傷リハビリテーションの充実に向けた行政や専門機関への働きかけ、社会に高次脳機能障害への理解を図るなどの啓蒙活動も行っています。

平成9年に脳外傷友の会として発足してから現在まで、高次脳機能障害友の会は正会員、準会員団体を合わせて、全国に46ヶ所設立されています。平成12年には、各地の高次脳機能障害友の会の連合体として「日本高次脳機能障害友の会」が設立されています。当事者団体が設立されてから、当事者団体の活動などがマスコミ等で取り上げられる機会が多くなり、脳外傷や高次脳機能障害について社会や行政も関心を持たれています。





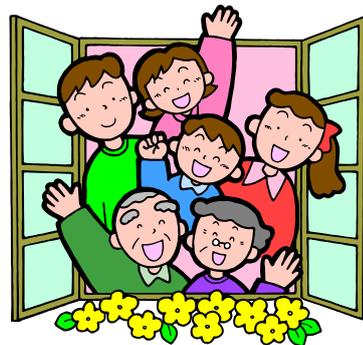
高次脳機能障害友の会「ナナ」の活動について

障害者地域作業所などの活動拠点をベースに活動している「友の会」もありますが、地域により活動内容には多少の違いがあります。一つの例として神奈川県総合リハビリテーションセンターの利用者が多い「高次脳機能障害友の会・ナナ」を紹介します。

「高次脳機能障害友の会・ナナ」の会員数は平成29年度 250 世帯ほどで賛助会員が60名程おります。会員の中には脳外傷が原因以外の方もいらっしゃいます。

年間の主な活動は、

- 年4回の会報の発行
- テーマ別の学習会や講演会
- 地区、親や配偶者などの立場ごとの交流会
- バーベキューや忘年会などのお楽しみ会
- 施設見学
- 「すてっぴなな（横浜市都筑区）」や「スペースナナ（厚木市）」等の日中活動場所の提供



他にも会員の方の相談などの活動も行っております。最近はお本人達がボランティアの方たちとキャンプなどの企画を立てて行う、お本人たちを中心にした活動もあります。

「ナナ」へのお問い合わせは、

協働事業室、電話 046-249-2020